

※1…海の保全活動などによって生まれる二酸化炭素削減量などを「価値」として認証し、取引できるようにした仕組み。
※2…家族の介護やその他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のこと。
※3…大雨などで浸水した場所に出動し、排水を行う車両。
※4…6メートルを超える高さに設置された落下した場合に大きな被害を及ぼす恐れのある200平方メートル以上のつり天井。

むなかた市議会だより

令和7年
9月定例会号

令和6年度 決算を認定

歳入 486億1553万円
歳出 469億3646万円

一般会計

令和7年第3回宗像市議会定例会が、8月29日から9月25日まで28日間で開催され、市長提案の議案29件、議員提案の意見書案1件、発議4件について審議を行いました。
本定例会では、予算決算特別委員会で、皆さんが納めた税金がどのように使われたのかなどを審査し、令和6年度の一般会計を含む全ての会計の決算を認定しました。

決算審査の内容

令和5年度と比較すると、歳入は18億8千万円の増となりました。令和7年度へ繰り越すべき財源である3億7千万円を除いた実質収支は13億1千万円です。
令和6年度の事業実績として、次の成果報告がありました。

- 市議会議員選挙費では、期日前投票所までのふれあいバス、コミュニティバスの運賃を無料とする移動支援やEVBASによる移動期日前投票を市内2大学、2高校で行い、投票機会の確保に取り組んだ。
- 人づくり推進事業費では、福岡労働局との雇用対策協定を締結した。また、就労サポートセンター「むなぼーと」を開設し、合同就職説明会を開催した。
- 脱炭素社会推進事業費では、市民モニター1500世帯による置き配バッグの実証事業を行い、再配達による二酸化炭素排出量を削減した。また、Jブルークレジット（※1）認証を申請・取得した。



置き配バッグのイメージ



大島に誘致したグランピング施設

- 重層的支援体制整備事業費では、令和7年度からの本格実施に向け、市の健康福祉部門、子ども支援部門の担当課、宗像市社会福祉協議会で構成される支援調整会議を毎月開催し、ケース検討を行った。
- デマンド交通事業費では、のーと予約アプリの説明会を定期的に開催した。アプリの登録者数は、合計6000人を超えた。
- 離島振興事業費では、来島者の増加を目的とした情報発信や体験事業の実施・支援を行うとともに遊休地にグランピング施設を誘致するなど島の活性化に努めた。また、保育園留学では、関東圏から3家族の受け入れを行った。

- 特別支援教育推進事業費では、特別支援教育支援員を42人から44人に増員した。また、医療的なケアを必要とする児童生徒が在籍する市立学校へ引き続き看護師を派遣するなど、支援を行った。
- 子ども家庭相談事業費では、令和6年度から新たにヤングケアラーコーディネーターを1人配置し、ヤングケアラー（※2）の実態把握および対象児童や家庭の支援を行った。また、特定妊婦や要保護児童などの支援の充実に努めた。

主な意見

賛成者の意見

市職員の退職者が増えている。市民の暮らしを守るための体制をつくることや官民連携で効果的な事業を構築することが非常に重要である。

地域猫・保護猫活動のボランティアへの支援、多様な地域公共交通の施策、障がいを持つ子どもたちや孤立化する家庭への丁寧な対応などを行ってほしい。

健全財政であることを評価する一方で、今後の財政状況が厳しくなることが明らかになった。今後は事業を精査し、力を合わせて取り組んでほしい。

企業と連携した置き配事業、空き家対策、防災対策、ラストワンマイル、介護施設などへの支援など執行部の対応を高く評価する。

教職員や保育士などのさらなる負担軽減、大雨被害の復旧のため独自支援を検討してほしい。決算委員会での議論を踏まえて令和8年度予算措置を講じてほしい。

反対者の意見

職員アンケートの結果や職員の退職状況を受け止めてほしい。庁舎改修は、一度に多額の税金を投入して庁舎改修を行ったことに検討の余地がなかったのか指摘する。自動運転バスについては慎重に検討すべきである。不登校の子どもたちが増えている教育施策については十分に議論すべきである。

全員賛成で可決

令和7年度 一般会計補正予算

歳入歳出をそれぞれ23億4297万2千円増額して468億1178万2千円とし、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う予算案が提出され、全員賛成で原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

防災対策事業費の増額（7122万円）

令和7年8月に発生した豪雨災害を受け、移動式排水ポンプ車（※3）の追加購入、防災力メラの増設、災害見舞金および災害ボランティア運営の委託料の増額を行う。



移動式排水ポンプ車

物価高騰対策事業費の増額（6196万4千円）

物価高騰に伴う低所得者支援策の一環として、75歳以上の住民税非課税者へ4400円分のお米券を配布する。

定住化推進事業費の増額（2620万円）

県外から本市に移住し、就業などの要件を満たす人に交付する移住支援金について、申請件数が当初の予定を上回ったため増額する。

宗像ユリックス管理運営費の増額（1558万5千円）

ユリックス本館およびアクアドームの特定天井（※4）について、建築基準法に基づく脱落対策の強化を図るため、調査および基本設計を行う。

ピックアップ！

学童保育所などの指定管理者を決定

令和8年4月から令和12年3月までの指定管理者の指定をするに当たり、議会の議決を求める5議案が提出されました。

議会は、所管する委員会でも慎重に審査し、本会議最終日に全ての議案を可決しました。

なお、全ての施設において現指定管理者が次期の指定管理者となる予定です。

【可決された施設名と指定管理者】

施設名	指定管理者
ふれあいの森総合公園	宗像緑地建設株式会社
赤間西小学校学童保育所、外16施設（赤間、吉武を除く）	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
吉武小学校学童保育所	吉武地区コミュニティ運営協議会
赤間小学校学童保育所	赤間地区コミュニティ運営協議会
宗像市自転車等駐車場（赤間駅）および宗像市自動車駐車場（赤間駅）	公益社団法人宗像市シルバー人材センター

※「バス・ラピッド・トランジット(Bus Rapid Transit)」の略。走行空間、車両、運行管理などを工夫することで、速達性、定時制、輸送力を確保し、利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステムのこと。

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和7年9月1日から4日までの4日間にわたって、
18人の議員が合計 34 項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは12月上旬に公開予定の議事録をご覧ください。



教育・保育の充実について
宗像志政クラブ／安部 芳英



安全安心なまちづくりのために

問 保育士を希望する学生への交通費補助など市内保育所へのインターン希望者を増やす取り組みはできないか。

答 実習先の園に就職する学生は多いと思われる。より多くの学生に実習に来てもらえるよう、調査研究を行う。

問 小中高校生など、より若い年代へ保育士の魅力を伝える機会をつくってはどうか。

答 今後、保育協会がむなかた子ども大学で保育士に関するメニューを創設するなど魅力発信の意向もあるので、実現に向け支援する。



田久公民館

問 令和6年に自治公民館建築補助金の見直しと併せて、公民館の維持・修繕などに関する支援策について提案した。その後の進捗は、自治会に対して実施したアンケートの結果を踏まえ、見直しに向け協議を行っている。



未来へのバトン教育編
未来むなかた／北崎 正則



問 教員の働き方改革について、本市の現状と対応は。

答 国が示す分類に沿って業務適正化を進めている。部活動の地域展開、一斉連絡システム導入、学校DXによるさまざまな事務作業軽減に取り組んでいる。

問 少子化の進展や学校施設の老朽化に対する方策の一つとして、「学校再編」が注目されているが、本市の現状は。

答 市立学校の適正規模・適正配置および学校施設整備に関する基本方針の策定を進めている。



問 本市の特別支援教育の現状と課題は。

答 地島小、大島学園を除く全市立学校に知的障がい、自閉症、情緒障がいの学級を設置し、障がいに応じた自立活動と各教科の指導を行っている。全市立学校での自校通級の導入について、関係機関と連携調整を図る。



自由ヶ丘地区のまちの将来像
宗像志政クラブ／森田 卓也



問 自由ヶ丘地区の特徴を踏まえたまちづくりの方向性は。

答 自動運転バスの実証事業や地域公共交通の再構築、交通結節機能を有した複合拠点施設の整備、自由ヶ丘南地区への生活利便施設および新たな宅地開発の誘導などにより、自由ヶ丘地区の魅力を引き出すことに高めていきたい。

問 公共ライドシェア導入の狙いと現状は。

答 自宅からバス停までの移動が困難な方のために導入し、現在月曜日と金曜日の週2回運行している。今後、路線バスや自動運転バス



公共ライドシェア「むなりんく」のロゴ

問 入のほか、高速輸送が可能なBRT(※5)などの幹線交通への接続を円滑にし、市民の日常生活の利便性を高めたい。

問 交通結節機能を有した複合拠点施設整備の現状は。

答 自由ヶ丘3丁目交差点周辺を候補地として検討している。

問 ごみの処理費用へのより多くの補助を、県に要望してはどうか。

答 現在、県からの補助率は、本土側が70%、離島側が90%で、漂流ごみの回収処分には1000万円を上限に100%の補助を受けている。今後、現行補助の継続に加え、補助



海岸の景観と環境保全のために
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 海の環境保全の支援強化について、現在の漂着、漂流ごみの対策は。

答 漂着ごみはボランティアによる回収と市発注の重機などによる回収が行われ、漂流ごみの回収は宗像漁業協同組合に委託している。

問 ごみの処理費用へのより多くの補助を、県に要望してはどうか。

答 現在、県からの補助率は、本土側が70%、離島側が90%で、漂流ごみの回収処分には1000万円を上限に100%の補助を受けている。今後、現行補助の継続に加え、補助



率の改善や新たな補助制度の創設を要望する。

問 海洋ごみ問題をテーマに提言や情報発信を行っている宗像国際環境会議の実績は。

答 会議は、今年で12回目となる。海の環境保全をメインテーマにシンポジウムや海岸清掃などを実施している。



高齢者の支援施策について
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 一人暮らしの高齢者が家庭内で急病などになった場合に安全を確保する緊急通報システムがある。システムの設置に対する市の補助要件は、緊急に対応する必要性が高い疾病を有する場合などに限られている。補助要件を緩和できないか。

答 次期高齢者福祉計画の見直しに向けて、本市の実態や先進地の状況などを踏まえ、最適な高齢者福祉サービスについて調査研究していく。

問 外出時でも対応できる携帯型緊急通報装置を採用している自治体もある。本市でも検討できないか。

答 さまざまなシステムがあるため、利便性の高い機器なども含めて、本市にとって最適なサービスについて調査研究していく。



(そのほかの質問)
子育て世帯の支援施策について



公共施設予約システムについて
日本共産党／川内 亮



問 コミセンの利用者から「インターネットでの利用予約を可能にしてほしい」などの要望がある。市は、どのように考えるか。

答 課題はあるが、利用者の利便性向上、効率化につながるようなシステム更新の検討を進めたい。



問 乗合タクシー「むなりんく」は令和7年度に岬・自由ヶ丘・河東地区で実証運行を開始し、順次エリアを拡大していく予定である。運行に向けて「平日は毎日運行してほしい」など利便性の向上を求める声を多く聞かす。どう生かしているか。

答 乗客へアンケートを行い、運行エリア、乗降ポイント、運行時間などについて分析し、見直しを検討する。



学校給食の取り組みについて
公明党／木村 武士



問 学校給食の無償化に踏み切らない理由は。

答 自校式給食の特徴を生かした、良質な安全安心な給食提供に重点を置いているため。

問 国の小学校給食無償化開始に合わせて、市独自の段階的な給食費無償化を実施しては。

答 段階的な中学校給食無償化を含め、市単



問 独で国に先行して学校給食を無償化することは考えていない。

問 「むなかた育ちウイーク」に携わる生産者や調理員の意見を把握し、反映しているか。

答 さまざまな会議に栄養教諭が参加し、価格面や調理工程の工夫、課題などについて意見交換している。

問 学校給食で牛乳選択制を導入できないか。

問 地域介護予防活動支援事業の地域定着度と今後の課題は。

答 地域の運動教室は大島を除く全地区で実施されている。地域の企業と連携した介護予防などの多様な取り組みや効果的な情報発信が今後の課題である。

問 市民後見人の育成状況は。

答 専門性が求められるハードルは高いが、関係団体と連携して育成を進めていく。

問 離島における介護人材育成支援の状況は。

答 大島でも介護資格の取得を促進できるよう、資格取得補助の要



※6…通常学級での教育で十分に能力を伸ばすことが難しい児童生徒のために、就学先を決めるための相談。



アウトリーチ支援体制について 未来むなかた／三島 隆由



問 生活困窮者の中には、既存の支援制度の対象外となり十分な支援を受けられていない人がいる。積極的な状況把握とアウトリーチ型の支援が求められるが、市の方針と現状は。
答 基本的には窓口に来ていただけて相談を受けているが、状況に応じて関係機関と連携し、支援していく。
問 子ども食堂との連携と補助金は。
答 現時点では、連携や補助金の支出はない。
8月豪雨災害について
問 各地の被害の状況と、今後の課題は。



土穴地区の冠水の様子

答 道路障害71件、土砂崩れ32件、人的被害は軽症者1人。排水ポンプ車を田熊、田久地区で稼働し、冠水を早期に解消できたが、冠水道路の通行止めの対応が遅れたことが課題。引き続き関係機関との連携を強化していく。



持続可能なまちづくりの実現へ 宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 日常の買い物や適切な医療の受診など市民生活に必要不可欠な地域公共交通全体の将来像は。
答 官民が連携し、全ての市民が安心・安全に利用できる公共交通体系を確立したい。
問 本年度から導入した「むなりんく」の今後の導入計画は。



問 来年度中に、日の里・大島地区を除く全地区に導入する。既に導入した地区では平日5日の運行も前向きに検討したい。
自然豊かな田園都市を守り続けるために
問 草刈り機の貸し出しは行っているか。
答 新規就農者や認定農業者、田んぼダムに協力いただいている農業者などを対象に貸し出し制度を創設した。
問 防草シートの設置拡大や設置補助を検討できないか。
答 試験的導入したものを検証し検討したい。



自然災害などへの対策の強化を ふくおか市民政治ネットワーク／田中 るみ子



問 大雨の際、河川や道路冠水のリアルタイムの情報が重要である。市民がアクセスしやすい防災アプリをつくれなか。
答 市公式LINEからのアクセスをよくするなど、情報にたどり着く方法をもっと簡単にするよう検討する。
問 避難所が遠くに行けないとの市民の声が多い。身近な公民館を利用できないか。
答 公民館を避難所として利用している地区もある。自主防災組織と連携して、市民が迅速に避難できる仕組みをつくらせていきたい。



問 災害による停電時に在宅人工呼吸器使用者の命を守るため、非常用電源購入費の助成事業を県が予算化した。本市は検討しているか。
答 停電が長期化する際は給電車や蓄電池を手配する。県の制度の活用については調査を行っていく。



就学相談の適切な実施について 宗像志政クラブ／石松 修



問 今年度の就学相談（※6）の枠が埋まったため申し込みを受け付けないとの対応があった。このような状況になった理由は。
答 例年より枠を拡大し体制を整えていたが、予定を大幅に上回る申し込みがあり、受け付けを停止せざるを得ない状況となった。
問 保護者は非常に不安な思いをしている。今後の対応は。
答 追加で申し込み込んだ方は、相談会を経て就学相談を実施する方向で進めている。来年度以降は、就学相談と教育支援委員会の見直し



を行い、特別な支援が必要な児童生徒が就学相談を受けることができるような仕組みづくりを行う。また、インクルーシブ教育の考え方で、通級指導教室や特別支援学級の活用を含め、個々の実態に応じて柔軟な支援を行っているよう、特別支援教育の充実に努める。



豪雨災害の防災対策は 豊創会／吉田 剛



問 田熊の排水ポンプ設置を前倒ししては。
答 前倒しする。
問 止水板設置補助の必要性をどう考えるか。
答 具体的な制度設計を行いたい。
住宅都市の歴史を未来へつなぐ回地再生を
問 豪雨により駐車場で崖崩れが起きた日の里コミセンの移転は急務である。UR103・104号棟跡地の公募条件に反映しては。
答 コミセンの移転や避難所機能を持たせることを公募条件に反映するよう検討している。



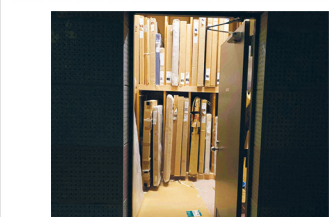
祭りや人の力で育む宗像の豊かさを
問 伝統行事を継承する取り組みの進捗は。
答 協議会を設立して普及啓発活動をしたほか、補助金交付の3年間の上限を撤廃した。
問 企業版ふるさと納税やクラウドファンディングを活用しては。
答 検討する。



河東地区の拠点づくり 日本維新の会／岩岡 良



問 河東地区まちづくり計画に示される河東西小学校区内での拠点づくりについて、いつ協議を再開するのか。
答 今秋から再開する。想定する協議の相手方は。
答 当時の経緯に詳しい人や河東西地区の自治会長、地区小学校の先生、地域福祉会などコミュニティ事業の受益者全体に声をかけた。



宗像ユリックスに保管されている文化財の状況

文化財行政について
問 市が所有する貴重な文化財の展示・保管や新たな寄贈受け入れなどの基準がないが、設けるべきでは。
答 活用基準と併せて受け入れ基準の整備を進める。また、学校教育での活用も検討する。



部活動地域移行について
日本共産党／新留 久味子
問 現時点での課題は何か。
答 受け皿となる地域クラブが質・量ともに十分でないほか、中体連出場に関するルールづくりが遅れている競技があることなどである。
問 保護者の負担軽減のため、地域クラブの月謝などの減免措置の

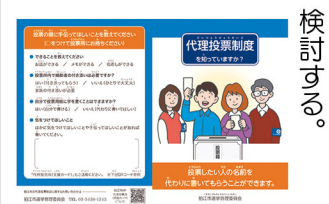
地産地消の学校給食無償化の実現を
問 国の小学校給食無償化に合わせ、市独自で段階的に中学校の給食無償化も検討できないか。
答 自校式給食の特徴を生かした質の高い安全・安心な給食の提供などに重点を置いて給食運営を進める方針に変わりはなく、現時点で段階的な中学校給食無償化は考えていない。



公共施設や体育館での熱中症対策 未来むなかた／上野 崇之



問 市立学校体育館への空調設置は評価するが、他の社会体育施設などでの熱中症対策は。
答 施設予約システムや窓口での注意喚起のほか、館内に温度などを確認できる測定器を設置し、状況に応じて利用中止を促している。屋内体育館の中で最も利用者が多い市民体育館への空調設置をすすめるため、今議会に補正予算を計上している。
障がいのある市民への投票支援策
問 東京都柏江市は障がいのある方向けに分かりやすい代理投票案



柏江市の代理投票リーフレット

内や投票所での支援カードなどを公開している。本市の取り組みは。郵便等投票の案内はホームページなどに掲載している。代理投票制度は当日の投票所以外で周知しておらず、支援に特化したマニュアルなどもない。先進自治体の事例を参考に検討する。

宗像市議会報告会

聞かせてください、
あなたの声を

日時 令和7年11月5日（水）19:00～20:45（予定）

場所 メイトム宗像・多目的ホール ※事前申し込み不要

未来の宗像を支える子どもたちのこと、にぎわいのあるまちづくりのこと、
これからの宗像について、たくさんの意見をお聞かせください。
当日は各テーマごとに分かれて意見交換会を行います。

詳細は市HPを
ご確認ください▶





豪雨災害対策について
日本共産党／神田 亜希子



問 浸水・冠水リスクを軽減するための止水板に対する設置費用補助制度の進捗は。

答 12月議会に間に合うよう制度設計に取り組むたい。

問 さらなる減災のために具体的な計画はあるか。

答 雨に強いまちづくりビジョンの中で計画している。

バス待ちしやすいようにバス停にベンチの設置を

問 体の不自由な人や高齢者がバスを待ちやすいように、バス停にベンチやシェルターを



増やせないか。

答 地域公共交通計画を改訂し、中心拠点・乗り継ぎ拠点を優先的に設置したい。

（そのほかの質問）
・増える不登校児童生徒への支援体制について



公共ライドシェアについて
笑顔 むなかた／齋藤 元孝



岬・自由ヶ丘・河東地区で公共ライドシェアの実証運行が始まった。

問 現在週2、3日の運行日を増やす予定は。

答 平日5日の運行を検討する。

問 土日も運行しては。利用状況やアンケートを踏まえ、タクシー事業者と協議したい。

減税による宗像市への影響は

現在、国会で減税が議論されている。

問 本市への影響は。

答 来年度の税収への影響は軽微であるが、今後減税額が大きくな



賛否が分かれた議案名と議決結果

令和7年 第3回 宗像市議会定例会

9月定例会で審議した議案のうち、賛否が分かれた議案と議決結果を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

● 賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）

議案番号	議 案 名	議員氏名 議決結果	齋藤 元孝	花田 哲司	木村 武士	田中 ちみ子	神田 亜希子	三島 隆由	川内 亮	石松 修	木藤 裕司	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	北崎 正則	伊達 正信	新留 久味子
第63号議案	宗像市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第67号議案	宗像市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	◆	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第70号議案	宗像市学童保育所（公募施設）の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第74号議案	宗像市産業立地促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第75号議案	令和6年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第77号議案	令和6年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第81号議案	令和6年度宗像市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆

※岡本陽子議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

1件の意見書を可決し、国に提出しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
〔全員賛成で可決〕

（提案議員）上野 崇之

（要旨）政府はこれまで「骨太方針」に基づき地方財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきたが、年々増加する行政需要と不足する人員体制を鑑みると、今後はより積極的な財源確保が求められる。

2026年度の地方財政について、社会全体として求められている賃上げ基調に相応する地方財政を実現するよう、政府に次の事項の実現を求める。

▼社会保障の充実、地域活性化、物価高騰対策、自治体DXの推進、地域公共交通の再構築など、財政需要を的確に把握

し、地方財源の確保・充実を図ること。

▼子育て対策などの社会保障ニーズが地方自治体の行財政を圧迫しているため、国が十分に支援すること。特に、人材確保に向けた取り組みを支える財政措置を行うこと。

▼減税政策を検討する際は、地方財政を脅かすことがないよう配慮すること。

▼「地方創生推進費」は、地方に不可欠な財源であるため、恒久的財源としてより明確に位置づけること。また、地方交付税措置の趣旨に沿った算定方法に改善すること。

▼特別交付税の減額措置について、寒冷地手などに残された減額措置を廃止すること。

▼自治体DXに伴う経費の増加が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。

▼地域公共交通について、専任担当者の確保を支援すること

▼また、一層の施策充実を図ること。

議員研修を行いました

7月7日と8月4日に、ハラスメント防止に関する議員研修会を行いました。講師の森幸二さんは、議会事務に精通され、他の地方公共団体での講師経験も豊富な方です。

議員からは、「この研修を通じてハラスメントに対する理解が深まった」「今後、ハラスメント防止条例を制定するのを含めて、議論を深めたい」という声がありました。

今後も研修を重ね、宗像市議会としてもハラスメント防止に対する意識を高めていきます。



座学やグループワークを通して議員間で活発な意見交換が行われました。

編集後記

議員活動を始めてから一年がたちました。読む立場から伝える立場に変わり、毎回どのような内容を取り上げるか悩みます。市民が知りたいこと、市議会が伝えたいことを考え、これからも分かりやすい紙面を目指します。そして一人でも多くの市民の方が市議会に興味を持ってもらえたらいいなと思います。（田中ちみ子）

※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。

▼請願の提出締切日は11月25日（火）です。

▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

12月 定例会の日程

日程	内容
12/2 火	本会議（議案上程、提案理由の説明）
3 水	本会議（一般質問）
4 木	本会議（一般質問）
5 金	本会議（一般質問、大綱質疑）
8 月	本会議予備日
9 火	総務常任委員会
10 水	社会常任委員会
11 木	建設産業常任委員会
12 金	予算第1特別委員会※1
15 月	予算第2特別委員会※2
19 金	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。
お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0940(36)1119

宗像市議会

検索



ホームページ二次元コード→

●発行/宗像市議会 ●編集/議会広報編集部会
●〒811-3492福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591